

授業が変わる！生徒が変わる！学校が変わる！

総合的な学習の時間

中学校版



社会とつながる



人とつながる



教科とつながる

単元構想

事例：働くこと

3つの視点から生徒の姿を思い描く

生徒の関心や疑問

◆生徒のこれまでの学習の進捗状況や、興味・関心の実態を把握する

商品の陳列を体験したけれど、色の並び順とか見せ方とか、そんなに深い理由があったとは知らなかった！他にどんな並び方があるのか調べたい！

接客を体験して、ちょっとだけコミュニケーションが上手になったと思うけれど、あいさつとかマナーとか、もっと極めたい！

農園で体験して、普段は見えなかったけれど、いろいろな仕事をしていることが分かった。働いている人がどんな思いで仕事に取り組んでいるのか知りたい！

生徒たちは、職場体験を通して、いろいろな仕事についての興味・関心を高めているようだ。もっと仕事や働くということについて考えられる単元を考えよう。

教師の意図

- ◆全体計画・年間指導計画を踏まえてどのような資質・能力を育てたいのか具体的に考える
- ◆授業のイメージを学年で共有する

こんなに生徒の興味・関心がふくらんでいるのに、そのままじゃもったいないですね。それじゃあ、これをもっと探究できるように単元を考えましょう。

そうですね。このままだと、体験した職場のことだけで終わってしまうので、もっと広い視野で職業を見られるようになってほしいですね。

いや、興味や疑問がたくさん湧いているのだから、対象は「職業」だけに決めない方がいいと思います。職場体験で気付いたことをもう一步深めて、「そうだったのか！」って納得している姿が、理想ですね。

全体計画では「地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い」を探究課題にしているから、この単元では身近で働く人との関わりを踏まえるようにすればいいんじゃないでしょうか。

教材の特性

- ◆教材と出会う姿を思い描く
- ◆教師の願いが生徒に伝わるような単元名を考える
- ◆教材として広がりがあるか、どのような対象や活動が考えられるかウェビングで確かめる

この地域には、大きな企業は少ないけれど、昔から頑張っている農家があります。農家の思いや願いに触れることで、働くことの意味や価値に迫れるのではないかと思います。

働く人の高齢化が進んでいる中で、農家さんがどのような努力や工夫を重ねているか、迫ることができそうですね。

農家以外には、町にいろいろなお店があるから、店主の方にインタビューをする活動もできるかもしれませんね。

商店だったら、お客さんの思いや願いについても聞けるかもしれませんね。お客さんは、どうして大きなお店ではなく、このお店を利用しているのかがわかると、町のお店のよさに気付くそうですね。

農家さん、店主やお客さんとの関わりを通して、より具体的に働くことの意味や価値を考えることができそうですね。ただ、インタビューだけで生徒の考えが深まるかどうか心配です。

それでは、全体計画を見たり、「地域で働く人々」が教材としてふさわしいかウェビングをしたりして確認してみましょう。

探究的な学習として単元が展開するイメージを思い描く

課題の設定

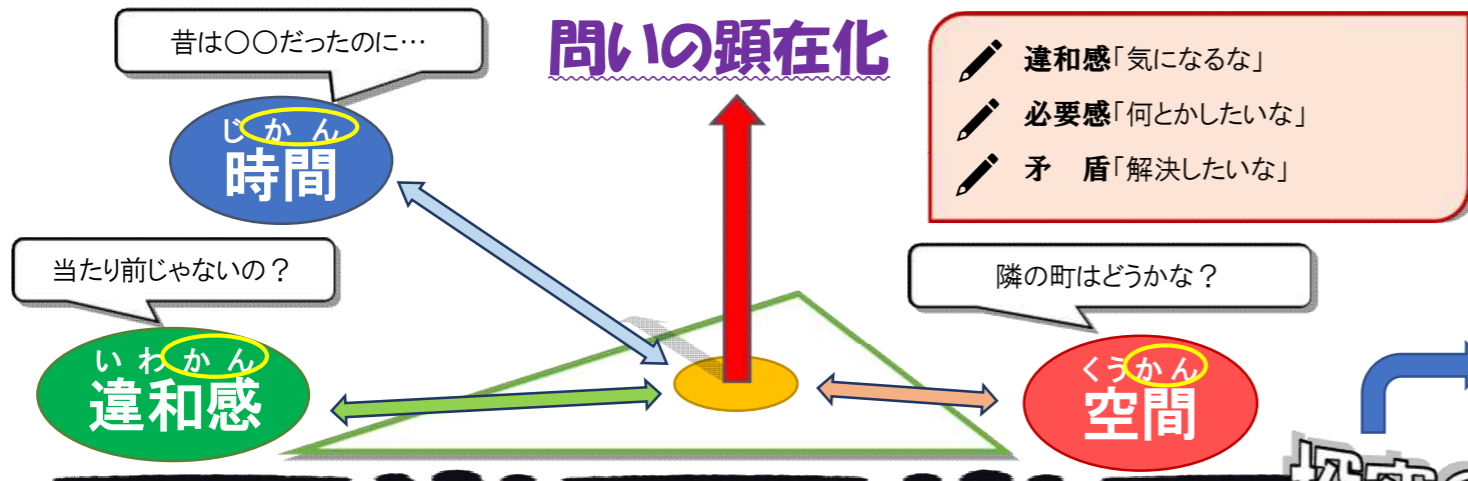
「なぜ？ どうして？」本気になる



体験活動などを通して、課題を設定し課題意識をもつ

【指導のポイント】

- 実社会や実生活の問題を取り上げる
- 見通しを明らかにし、ゴールとそこに至るまでの道筋を鮮明に描くことができるような学習活動の設定を行う
- **意図的な働きかけ**を行い、学習対象とのかかわり方や出合わせ方を工夫する
- これまでの児童生徒の考えとの「**ずれ**」や「**隔たり**」を感じさせたり、対象への「**憧れ**」や「**可能性**」を感じさせたりする



「もっと知りたい！ 伝えたい！」
次につながる

まとめ・表現



気づきや発見、自分の考えなどをまとめ、判断し、表現する

【指導のポイント】

- **相手意識**や**目的意識**を明確にしてまとめ・表現させる
- まとめ・表現させ、**生徒自身の考え**や**新たな課題の自覚**につなげる
- 伝えるための具体的な方法を身に付けさせ、それらを目的に応じて選択して使う場面を設定する

相手意識を明確に!!



各自、各グループなりの、独創的な表し方(具体的な事例、図式やイラストなど)を用いて伝える

情報の収集

「もっと知りたい！ 調べたい！」夢中になる



必要な情報を取り出したり収集したりする

【指導のポイント】

- 必要に応じて教師が意図的に資料等を提示する
- より多様で確かな情報の収集を行うため、**各教科等で身に付けた知識や技能を発揮する**場面を設定する
- 体験を通じた**感覚的な情報**の収集や、数値化された**客観的な情報**の収集を行わせる
- その後の探究活動を深めるために、**収集した情報を適切な方法で蓄積**させる



「そうか！なるほど！」思考を深める

整理・分析



収集した情報を、整理したり分析したりして思考する

【指導のポイント】

- 生徒が自分たちで情報を吟味できるようにする
- どのような方法で情報の整理・分析を行うのか、生徒に決定させる
- **何をどのように考えさせたいのかを意識**し、思考を可視化する「**思考ツール**」を活用する場面を設定する

